

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- 組織を刷新し新年度スタート ……1ページ
- 令和2年度事業報告会 全部署が動画作成にチャレンジ！ ……2ページ
- さくらカフェ 開店しました
- ハードでエキサイティング！福祉公社のケアマネジャー
- オープンガーデン 北町高齢者センターのお庭
- 手作りプロジェクト第2弾は“へるびよん”しおり ……3ページ
- お知らせ
- リレーコラム・編集後記 ……4ページ



組織改正

昨今の福祉ニーズの増加に適切に対応するため、従来の在宅サービス課を分割し、市民の権利擁護・成年後見に関わる部署として権利擁護課を新設しました。

また、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生活困窮者自立支援法による「自立相談支援事業」「家計改善支援事業」「住居確保給付金事業」に関する業務が激増しました。そこで新たに「生活自立支援センター」を新設し、三鷹サテライトオフィスにて業務を開始しました。

今年度重点施策

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上での着実な事業の継続

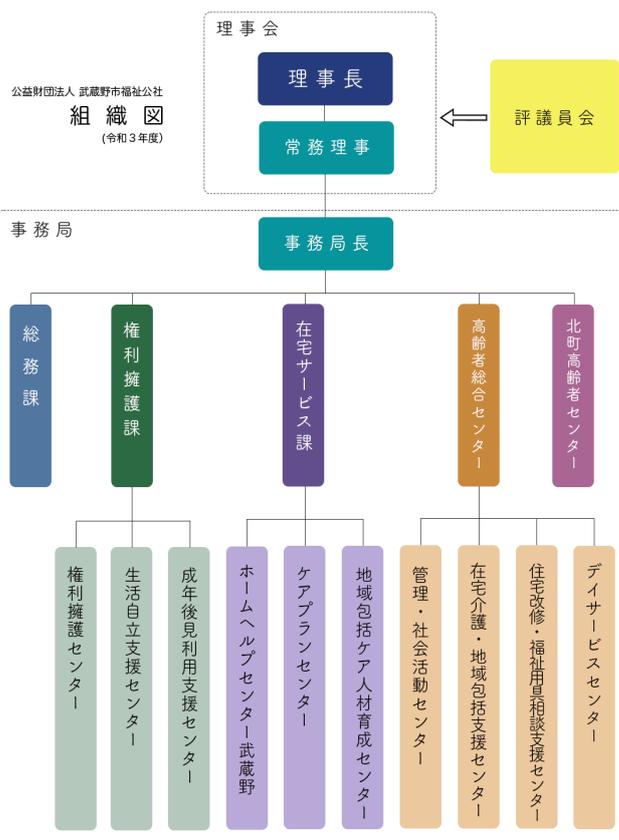
感染拡大防止のため、大人数が参加する事業は中止もしくは縮小して実施しますが、訪問介護や通所介護等の介護事業や生活困窮者等への支援は感染防止対策を徹底して事業を継続いたします。

新社屋建設委員会（仮称）の設置

外部の識者や市民社協の職員を交え、災害や感染症の流行も考慮した、持続可能性の高い建築計画を検討します。

北町高齢者センターのあり方の検討

コロナ禍でのボランティア活動のあり方、小規模サービスハウスの活用など、新しい北町高齢者センターのあり方について、プロジェクトチームを設置し検討します。



新入職員

今年度は5人の新入職員を迎え、新体制で新年度をスタートします。

- 権利擁護センター：小山美緒(左から2人目)、村山咲江(右から2人目)、松本杏奈(左端)
- 高齢者総合センター：小林彩香(右端)
- 北町高齢者センター：村上綾香(中央)

よろしくお願いたします。

(総務課 新谷)

令和2年度事業報告会 全部署が動画作成にチャレンジ！



Webによる動画配信

令和2年度事業報告会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、WEBによる動画配信により実施しました。初めての試みでしたので、資料や動画作成に試行錯誤しながらも、職員同士、協力しながら意欲的に取り組みました。

Web上での投票

令和3年3月3日から15日までの動画配信期間中、各職員が事業報告を視聴し、投票しました。投票はWEBアンケートにて、それぞれ良かった報告を2つ選んでもらいました。職員投票と理事者・管理職による審査の結果、4部署が受賞しました。

令和2年度 武蔵野市福祉公社 事業報告会

令和2年度 武蔵野市福祉公社 研修委員会 主催 各部署による令和2年度の取り組み等を事業報告動画としてアップロードしています。パスワードを登録した方以外には非公開となります。※動画の再生は高齢者総合センター管理・社会活動センターアカウントを利用してアップロードしてあります。



▲ オンライン視聴ページ。各部署の力作が並んでいます。

コロナ禍だからこそ

どの部署も、それぞれの強みや良さを生かした報告でした。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、日々の業務に大きな影響が出た一年でした。各部署では日々の業務を遂行するために、多くの課題や不安が生じましたが、チーム一丸となって解決に向けて協議、工夫をして業務を遂行しました。そしてこの実体験が報告の中にも多く盛り込まれていたのが印象的でした。職員からは「本当に大変な年だったね」「でもそれぞれ、様々な工夫をしてやっていたんだね」「この部署、コロナ

禍だったのにこんな取り組みしててすごいな」などの声が聞こえてきました。この一年、中々じっくりと他部署の職員同士で交流し、現状を伝えあう機会が少なかったからこそ、この事業報告会でお互いの一年間の業務を知り、振り返るよい機会になったと感じました。

まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されますが、福祉公社職員の頼もしさと力強さ、そして前向きな姿勢を感じることができました。

(権利擁護センター 塩野谷)

優勝 権利擁護センター

『ご存じですか？生活困窮者自立支援事業～新型コロナウイルスで表面化した武蔵野市の困窮～』



○ 理事長賞 ・ ホームヘルプセンター 『大転換期を最大限活用!!』

○ 職員賞 (今年度は同票であったため、2部署)

- ・ 在宅介護・地域包括支援センター 『生きがい、紹介します。』
- ・ 高齢者総合センターデイサービスセンター

『うふふ、居心地のよい時間と場所を提供するために
～気分の変化が大きいアルツハイマー型認知症高齢者への支援～』

今年の桜は気が早いようで、東京は3月中旬には満開となりました。デイサービスセンターでは開花に合わせて「桜を愛でながら美味しい紅茶をいただこう」とご利用者による「さくらカフェ」を開店し、想い出の桜の名所をTVに映し映像で巡りました。色とりどりの桜色、懐かしい風景に感嘆の声があがりました。ご利用者扮するマスターの堂々とした開店のご挨拶を聞き、「どこのカフェのマスターなの?」「美味しい紅茶ね」と大好評でした。

(デイサービスセンター 安部)

さくらカフェ
開店しました



オープンガーデン

北町高齢者センターのお庭



北町高齢者センターのシンボルツリーのハナミズキを囲んで四季折々の花木が植えられています。梅、桜、ハナミズキ、バラ…の順番に次々と開花します。園芸ボランティアの皆様が、季節ごとに植え付けてくださる草花が所狭しと賑わい、数えると40種類ほどあるそうです。

先日、ご利用者と職員でお庭を歩き「見事に咲いていますね」「今年は梅の実がなって楽しみだわ」と話にも花が咲きました。これからも様々な花々に彩られた素敵なお庭が見られるのが楽しみです。

(北町高齢者センター 鈴木美)

ハードで
エキサイティング!

福祉公社のケアマネジャー

介護保険制度は平成12年の創設以来、3年ごとの見直しが行われています。この度の令和3年の改正では新型コロナウイルスの影響から大きな変更はありませんでしたが、各自治体ごとの地域包括ケアシステムの推進・強化が図られます。

平成12年4月誕生

福祉公社のケアプランセンターは平成12年4月に、当時の有償在宅福祉サービス（現：権利擁護センターつながりサポート事業）との連携が必要なお利用者のケアプラン作成等を目的に設立されました。かつて、家族同様の動きで支援を行っていた有償在宅福祉サービスのソーシャルワーカーと二人三脚で、介護が必要になったご利用者を支えてきました。

親族に頼れない方を支える

現在、福祉公社のケアプランセンターにケアプランの作成を

依頼されるケースは、親族がいらっしゃらない方や、いても支援があまり望めない場合が多くあります。ご本人に加えて、ご家族全体が支援を要する場合があります。社会情勢の変化から、今後益々そのような方々は増えていくと考えられます。

多職種連携

ケアマネジャーの業務は必然的に、介護保険だけではカバーできない隙間業務が発生し、多様な専門職、地域の方、民生委員、近隣商店の方等との連携を日々行い、ご利用者支援を行っています。そんな福祉公社のケアマネジャーはまさにハードでエキサイティングな専門職です!!

(ケアプランセンター 武田)



手作りプロジェクト 第2弾は“へるぴょん”しおり

“へるぴょん”はホームヘルプセンター武蔵野のマスコットキャラクターです。ホームヘルプセンター武蔵野の事業に対し、市民の方々に親しみを持っていただくために誕生しました。今年で3歳になります。この度、“へるぴょん”をあしらったしおりを作成しました。昨今のコロナ禍に対し、さらに職員一丸となって業務を進めるために、部署内全員へ配布しました。

イラストの得意な職員が6パターンのへるぴょん原画を書き下ろし、ラミネート加工などの工程は職員がケアの合間をぬって進めました。細部にこだわって作った結果、完成度の高いしおりになりました。私も普段の読書で使っていますが、長く愛用したいと思える一品です。

(ホームヘルプセンター 後藤)

老いじたく講座

● 老いじたくの基礎知識

5月27日(木)
17時00分～18時30分
@福祉公社1階会議室

● エンディングノート書き方講座

6月11日(金)
13時30分～15時00分
@市民会館第2学習室



法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日
(次回は6月8日 午後/予約制です)

法律相談(高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日
(次回は5月26日 午後/予約制です)

【問合せ・申込み】 権利擁護センター ☎ 0422-23-1165

家族介護教室 みどりの輪 「事例でわかる認知症の方とのつきあいかた」

認知症・認知症の介護について事例でわかりやすく解説します

日時 令和3年5月28日(金) 13時30分～15時00分(13時00分受付開始)
場所 高齢者総合センター 3階講義室
講師 在宅介護・地域包括支援センター 職員
定員 15名(要申込)

【お問い合わせ・申し込み】 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974



職員リレーコラム

キャンプ

総務課 田中 沙知



皆さんはキャンプをしたことがありますか？最近では新型コロナウイルスの影響でキャンプをする人が増加していると聞いたことがあります。私は大学時代、アウトドア部の合宿で全国各地のキャンプ場を巡りました。キャンプと言っても最近流行のおしゃれキャンプとはほど遠く、2週間のキャンプ道具を背負い徒歩でキャンプ場まで行く過酷な

キャンプでした。電気は使えず、ベッドもなく、豪雨の時にはテント内が水浸しになることもありました。便利な時代に生きてきた私にとって合宿でのキャンプ生活は辛い体験で2週間のうちの1週間も経てば家に帰りたと思っていました。合宿を終えて帰宅すると、ふかふかのベッドで眠れること、スイッチひとつで電気がつくこと、雨風をしのげる家が

あること等、当たり前することに有難みを感じました。合宿中大変な思いもしましたが、キャンプ場で部活仲間と観た星空は今でも忘れられません。

社会人になり、学生時代のように何週間もキャンプに行くことは難しくなりましたが、コロナが終息したら部活仲間とキャンプ場に足を運びたいです。

今回は  ホームヘルプセンター 兵 奈緒子

福祉公社各部署のご案内



<ホームページ>

- 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>
- 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター <https://www.m-machigurumi.jp>
- ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

総務課 ☎ 0422-23-1165
権利擁護センター ☎ 0422-23-1165
成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
ケアプランセンター ☎ 0422-23-1165
ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター

武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
子育てひろば・みずぎっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター

武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

新年度より新しい委員長のものと広報委員会がスタートしました。5月に入り、新人職員も異動者も業務に慣れてきたころではないでしょうか。広報委員会は今年度もオンライン会議にて各部署と連携のもと、羅針盤作成を心掛けたいと思います。

(北町高齢者センター 鈴木美)